

書名	驚きの地方創生「木のまち・吉野の再生力」		著者名	蒲田正樹／著			
出版社	扶桑社	ISBN	978-4-594-08234-5	本体価格	¥820	発売	2019/7/3
内容	奈良県吉野をテーマにした文学、歴史書、観光ガイドを踏まえながら、今の吉野の取り組みを様々な視点から取り上げる新しいスタイルの地方創生本。吉野町 & 世界遺産 金峯山寺全面協力・推薦！						

書名	検証 奈良の古代遺跡 古墳・王宮の謎をさぐる		著者名	小笠原好彦／著			
出版社	吉川弘文館	ISBN	978-4-642-08356-0	本体価格	¥2,200	発売	2019/7/15
内容	古代には大和(やまと)と呼ばれ、政治・経済・文化の中心地だった奈良。葛城(かつらぎ)氏の本拠である馬(うま)見(み)古墳群、壁画で知られる飛鳥の高松塚古墳とキトラ古墳、厩(うまや)戸(ど)皇子の斑鳩(いかるが)宮など、奈良県各地の古墳、王宮跡など三一遺跡を取り上げ、新説を交えて紹介する。考古学の最新の研究成果に、「記紀」と『万葉集』をふまえ、その背後に展開した古代史をあざやかに描く。						

書名	古代の都 なぜ都は動いたのか【古代史をひらく】		著者名	吉村 武彦、吉川 真司、川尻 秋生／編集			
出版社	岩波書店	ISBN	978-4-00-028496-7	本体価格	¥2,600	発売	2019/7/31
内容	飛鳥の地に始まり、難波宮を経て、日本の「古都」として今も親しまれる平城京(奈良)、そして平安京(京都)へ。古代国家の中心たる「都」は、推古朝から何度も所在場所を変えた。それはなぜだったのか。近年のめざましい発掘成果や、出土文字資料・文献史料を駆使し、都の実態や移り変わりを丁寧に追う。						

書名	神代から神武天皇 建国の物語		著者名	牧ともえ／著			
出版社	地域情報ネットワーク	ISBN		本体価格	¥1,500	発売	7月上旬
内容	2019年5月1日、新天皇陛下の即位により、令和に改元されました。さかのぼること2679年前、橿原宮で神武天皇が即位したのが現在の天皇陛下に連なる日本の歴史のはじまりとされています。天地開闢から神武天皇の即位まで、神から人へと移り変わる時代の記述を『古事記』『日本書紀』から探り、物語化。関連する絵画から模写した色彩豊かな絵と、やさしい語り口で著した大人の絵本です。裏表紙には黄金のトビが輝きます！						

書名	新装版 斎王夢語			著者名	萩尾 望都／著			
出版社	新潮社	ISBN	978-4-10-399603-3	本体価格	¥2,500	発売	2019/7/29	
内容	漫画界の至宝による、幻の戯曲が復活！ 人生を神に捧げた乙女の姿を描く古代ロマン。描きおろしカバーに加え、創作メモも初収録。							

書名	百舌鳥・古市古墳群のすべて			著者名	水谷 千秋／監修			
出版社	宝島社	ISBN	978-4-8002-9676-4	本体価格	¥1,300	発売	2019/7/24	
内容	今年の夏、大阪の百舌鳥・古市古墳群が世界遺産に登録されることが確定的となりました。古代史の遺産が初めて世界遺産となります。本書では、49基から成る巨大古墳群、百舌鳥・古市古墳群が作られた時代背景、CG再現による当時の古墳の姿、仁徳天皇陵・萱田御廟山古墳などを含む、それぞれの古墳の特徴などを完全図解で紹介。現地に訪れた際に役立つモデルコース、天皇陵でいただける「御陵印」の紹介など、古墳の魅力を堪能できる一冊です。							

書名	仕組まれた古代の真実(仮)			著者名	関 裕二／著			
出版社	辰巳出版	ISBN	978-4-7778-2283-6	本体価格	¥1,100	発売	7月上旬	
内容	7つの新しい「見方」が古代史学習の最強の「味方」になる！ 天皇の存在意義とは？新元号「令和」出典の『万葉集』の謎…にも言及！ 日本史、特に古代に真実を知らずにいる日本人は不幸である。たとえば、千数百年間、日本人は天皇を推戴してきた。しかし、天皇とはいったい何者なのか、教科書では教えてくれない。宗教についても同様で、神道とはどのような信仰なのか、なぜ仏教とごちゃ混ぜになってしまったのかを説明できない。本書は、7つのテーマから謎めく古代の真実を解き明そうと試みる野心作である。古代史は「ミカタ」しだいでいっきにわかる！							

書名	すごいぜ！！ 日本妖怪びっくり図鑑(仮)			著者名	木下 昌美／著			
出版社	辰巳出版	ISBN	978-4-7778-2360-4	本体価格	¥980	発売	2019/7/31	
内容	みんな大好きな「日本の妖怪」を多数紹介するビジュアル図鑑！有名妖怪からあまり知られていない妖怪まで、全国各地の「日本の妖怪」をバラエティ豊かに、イラストをメインとして多数紹介する一冊。「〇〇すぎる妖怪」という切り口でカテゴリーごとに分類して構成、トータル100体以上を収録予定です。また、ゲームのカード風の見せ方により、各妖怪のスペックなどのデータも掲載。さらに、著者による「妖怪ゆかりの地めぐり」や各種コラム記事も織り交ぜます。妖怪について知るだけでなく、本書を通じて日本の地理や歴史、文化にも親しめるような作りを予定しています。							